

<学校評価報告>

児童・保護者・教職員のアンケート結果（R7年度後期）

○ アンケート回答項目

4：よくあてはまる 3：だいたいあてはまる
2：あまりあてはまらない 1：まったくあてはまらない 無：わからない、無回答

○ 集計評価区分

A：十分に達成（肯定率90%以上かつA評価35%以上） B：相当程度達成（肯定率75%以上）

C：やや不十分（肯定率60%以上） D：不十分（肯定率60%未満）

※肯定率とは、アンケートで4・3を選んだ割合。

※昨年度と比較し、特に評価の変化があった場合に△▼を記入。

① 学校生活

評 価 項 目		評価	評価者	4	3	2	1	肯定率(%)	評価4(%)	比較
学校は、楽しいですか。	R7.7	A	児 童	57	41	8	1	92	53	▼
	R7.12	B	児 童	52	42	11	3	87	48	
子どもは学校が楽しいと言っている。	R7.7	B	保護者	51	30	9	2	88	55	-
	R7.12	B	保護者	52	39	10	2	88	50	
児童が楽しいと感じられる学校づくりに努めている。	R7.7	A	教職員	6	5	0	0	100	55	-
	R7.12	A	教職員	6	5	0	0	100	55	

② 授業

評 価 項 目		評価	評価者	4	3	2	1	肯定率(%)	評価4(%)	比較
授業は、分かりやすいですか。	R7.7	A	児 童	63	38	5	1	94	59	-
	R7.12	A	児 童	47	57	4	0	96	44	
子どもは、授業が楽しく分かりやすいと言っている。	R7.7	B	保護者	45	36	10	1	88	49	-
	R7.12	B	保護者	34	52	14	3	83	33	
分かる授業・楽しい授業づくりに努めている。	R7.7	A	教職員	4	7	0	0	100	36	-
	R7.12	A	教職員	7	4	0	0	100	64	

③ 家庭学習の習慣

評 価 項 目		評価	評価者	4	3	2	1	肯定率(%)	評価4(%)	比較
家庭学習はできていますか。	R7.7	A	児 童	62	36	8	1	92	58	-
	R7.12	A	児 童	55	43	7	3	91	51	
子どもは家庭学習に頑張っており取り組んでいる。	R7.7	B	保護者	36	42	11	3	85	39	-
	R7.12	B	保護者	36	44	20	3	78	35	
児童に家庭学習の習慣が身に付いている。	R7.7	B	教職員	2	9	0	0	100	18	-
	R7.12	B	教職員	1	10	0	0	100	9	

④ あいさつ

評 価 項 目		評価	評価者	4	3	2	1	肯定率(%)	評価4(%)	比較
気持ちのよいあいさつができていますか。	R7.7	B	児 童	55	34	16	2	83	51	-
	R7.12	B	児 童	49	40	17	2	82	45	
子どもは気持ちのよいあいさつができています。	R7.7	C	保護者	33	34	22	2	74	36	△
	R7.12	B	保護者	31	49	22	1	78	30	
気持ちのよいあいさつのできる児童が育っている。	R7.7	C	教職員	0	7	4	0	64	0	-
	R7.12	C	教職員	0	7	4	0	64	0	

⑤ 正しい言葉遣い

評 価 項 目		評価	評価者	4	3	2	1	肯定率(%)	評価4(%)	比較
正しい言葉遣いができていますか。	R7.7	B	児 童	38	52	15	2	84	36	-
	R7.12	B	児 童	43	44	21	0	81	40	
子どもは正しい言葉遣いができています。	R7.7	C	保護者	17	44	28	3	66	18	-
	R7.12	C	保護者	12	62	24	5	72	12	
正しい言葉遣いのできる児童が育っている。	R7.7	C	教職員	1	6	4	0	64	9	-
	R7.12	C	教職員	0	8	3	0	73	0	

⑥ 規則正しい生活

評 価 項 目		評価	評価者	4	3	2	1	肯定率(%)	評価4(%)	比較
きまりや時間を守って生活できていますか。	R7.7	B	児 童	52	38	10	1	89	51	△
	R7.12	A	児 童	54	44	8	2	91	50	
子どもはきまりや時間を守って生活している。	R7.7	B	保護者	38	42	11	1	87	41	-
	R7.12	B	保護者	33	51	17	2	82	32	
きまりや時間を守る児童が育っている。	R7.7	B	教職員	1	8	2	0	82	9	-
	R7.12	B	教職員	0	10	1	0	91	0	

⑦ いじめや差別のない学級づくり

評価項目		評価	評価者	4	3	2	1	肯定率(%)	評価4(%)	比較
相手のことを考えて友達にやさしくできていますか。	R7.7	A	児 童	53	47	6	1	93	50	-
	R7.12	A	児 童	57	43	7	1	93	53	
子どもは友達にやさしく接している。	R7.7	A	保護者	39	51	2	0	98	42	-
	R7.12	A	保護者	51	50	2	0	98	50	
友達にやさしく接することのできる児童が育っている。	R7.7	B	教職員	2	9	0	0	100	18	-
	R7.12	B	教職員	2	9	0	0	100	18	

【今後の方向性】

「目標に向かって主体的に行動する児童を育てる」

- 学ぶ楽しさを実感できる、分かる授業作りに努める。
- 自己肯定感を高めるとともに、互いに認め合える集団をつくる。
- 集団への所属意識を高め、互いに支え合える学校・学級経営に努める。

「規則正しい生活習慣を確立する」

- 自分から先に気持ちのよい挨拶ができる児童を育成する。
- その場に合った言葉遣い、相手を思いやる言葉遣いができる児童を育成する。
- ゲームやネット等、I C T機器の活用状況を改善する。
- 個々の実情を把握し、適切な家庭学習ができるよう工夫する。

【保護者からいただいた御意見】

○学校へ行った時、子供達と出会う機会も挨拶をしない子がほとんどでした。
⇒挨拶は今後の大きな課題として、継続した指導や取組をしていく。

○放課後居残りがある日は事前にお知らせしてほしい。予定がある児童は帰らせてほしい。
⇒児童の予定をしっかりと確認するとともに、家庭への連絡を徹底する。

○友達との交友関係を上手く築くことが出来ておらず、時折、学校に行きたくないとの発言があります。親からは、中学校で気の合う友達が出来るともかもしれないから、残りの小学校生活を頑張って学校に通うように伝えております。
⇒児童の気持ちに寄り添いながら、安心して学校生活を送れるよう支援する。また、関係諸機関とも連携して対応に当たる。

○毎日学校であったことを話してくれます。楽しく通っているんだなと感じています。
⇒児童一人一人の学校生活が充実するよう、全教職員で力を合わせて学校運営に取り組んでいく。